

書き初め展

担当 佐古 光奈子

新年に初めて書を書くことを「書き初め」といいます。書き初めは、平安時代の宮中行事が起源で、元日の朝に初めて汲んだ水（若水）で墨をすり、新年の縁起の良い方角（恵方）に向かって祝賀や詩歌を書いたことに由来するようです。新年になり、心新たに目標を定められると良いですね。

本校では、2学期末に書き初めに向けての指導を行いました。1・2年生は「筆圧や字形、文字の大きさ」、3～6年生は「筆遣い、文字の組み立て、配列など」に気を付けて練習しました。見本をよく見て、丁寧に美しい字を書こうと集中して取り組む姿が見られました。

3学期の書き初め会で書いた作品のうちから各学年の代表作品を決めます。代表作品は、「大田区立小学校書き初め展」に出品され、1月16日(木)～22日(水)に区内の全小学校の代表作品とともに、池上会館1階展示ホールに展示されます。ぜひご参観ください。

【校内書き初め展】

1月20日(月)～25日(土) 放課後～16時20分
25日(土)は、2時間目までご覧になれます

【大田区立小学校書き初め展】池上会館(1階 展示ホール)

1月16日(木)～22日(水) 9時～17時 (22日は13時30分まで)

校内研究

担当 伊藤 育美

本年度より第5・6学年で「創造的な資質・能力」の育成を目指す新設教科「おおたの未来づくり」が他校を先行して始まりました。また、そのための素地を養う取組が第1～4学年で行われています。

「おおたの未来づくり」では、大田区の特色を生かした「世界に誇る高い技術力」だけでなく、「豊かな自然と歴史」、「貴重な文化」等を教育資源として最大限に生かす教科横断的な学習を進め、「探究」と「創造」を往還しながら発展していく学習を行います。そして、次のような資質・能力を身に付けていきます。

- (1) 地域の社会や人々の「Well-being」につながる取組に参画するための基礎となる知識及び技能を身に付けるようにする。
- (2) 試行錯誤して、地域の社会や人々の「Well-being」につながるものや取組を創り出し、発信するために必要な思考力、判断力、表現力等を養う。
- (3) 地域社会の一員として、様々な人との関わりを大切にするとともに、自他のよさやもち味を生かして主体的に取り組み、よりよい未来を創造しようとする態度を養う。

現代社会は、予測困難な時代であり、急速に変化し続けています。未来社会を生きるこどもたちが自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていくことができるように新設教科「おおたの未来づくり」をはじめとし、さまざまな教育活動を通じて課題を解決する力、新たな価値を創造する力を育成していくことができるように取り組んでいきます。